

町家に 住みつづけるために

日時 平成26年7月6日(日)
午後2時 ~ 午後4時

場所 飛騨高山まちの博物館 研修室

講師 鈴木 祥之 (立命館大学衣笠総合研究機構教授)
向坊 恭介 (立命館大学理工学部助教)
須田 達 (金沢工業大学環境・建築学部講師)

主催 高山市・飛騨高山伝統構法木造建築物研究会

申込 不要 (定員100名)

内容

- ・耐震化マニュアルとは(市の補助制度など)
- ・なぜ耐震改修が必要か
- ・どのように耐震診断・耐震補強設計をおこなうか

平成25年度に作成した「高山市伝統構法木造建築物耐震化マニュアル」に基づき、町家などの伝統構法による木造建築物に適した耐震診断や耐震補強の手法について一般の方を対象に分かりやすく解説します。

また、同時に平成26年度より始まったこれらの手法による耐震診断、耐震補強の補助制度についても市より説明を行います。

